

技術日本語表現技法 (Technical Writing)

修飾の順序

入れ子構造による分かり難さ

- 私はA教授がB助教授がC助手が実験で成功したことを妬んでいると勘違いしていると思った。
- B助教授がC助手が実験で成功したことを妬んでいると、A教授が勘違いしている、私は思った。
- C助手が実験で成功したことをB助教授が妬んでいるとA教授が勘違いしている、私は思った。

修飾語とは

- 狭義の「文法で、修飾の働きをする語」ではなく、広い意味の「かかる文節」と考える。補語, 補足語, 補足部。
- 主語も広い意味での修飾語と見る。
- 結果, 述語にかかるすべての単語・文節・句は修飾語ということになる。

修飾の順序

- 白い紙
- 横線の引かれた紙
- 厚手の紙

白い横線の引かれた厚手の紙
白い厚手の横線の引かれた紙
横線の引かれた白い厚手の紙
横線の引かれた厚手の白い紙
厚手の白い横線の引かれた紙
厚手の横線の引かれた白い紙

原則1: 節を先に、句を後にする

- ゆっくり振動する
- 大きな地震を受けて振動する
- 長時間振動する

大きな地震を受けて長時間ゆっくり振動する。

注: 節は一個以上の述語を含む文, 句は述語を含まない文節。

AがBをCに紹介した

- AがBをCに紹介した
- AがCにBを紹介した
- BをAがCに紹介した
- BをCにAが紹介した
- CにAがBを紹介した
- CにBをAが紹介した

分かりやすさ、内容のあいまいさに差はない。

AがBをCに紹介した

- D先生が紹介した
- 私が目を合わせられないほど尊敬するE先生に紹介した
- 私の友人のF君を紹介した

私が目を合わせられないほど尊敬するF先生に私の友人のE君をD先生が紹介した。

- 土の中を流れる
- 汚染した水が流れる
- 静かに流れる

汚染した水が土の中を静かに流れる
土の中を汚染した水が静かに流れる
静かに土の中を汚染した水が流れる
静かに汚染した水が土の中を流れる

汚染した水が土の中を静かに流れる

原則2: 長い修飾語を前に、短い修飾語を後に

- A博士が描いた
- 実験により求めた応力とひずみの関係を描いた
- 直線のグラフで描いた

実験により求めた応力とひずみの関係を直線のグラフでA博士が描いた

A博士が実験により求めた応力とひずみの関係を直線のグラフで描いた

演習 各自で、例題文を作る。

- 原則2:「長い修飾語を前に、短い修飾語を後に」に従った良い文と、それに従わない悪い文の組を3組つくる。
- 禁止事項(出席を無効とします)
 - 教科書からの引き写し, マイナーチェンジ
 - 他の学生の文書の引き写し, マイナーチェンジ

長さが同じ修飾語の場合

- 太郎さんが学位を取得した
- 10年かかって学位を取得した
- 武蔵工大から学位を取得した

太郎さんが武蔵工大から10年かかって学位を取得した。

10年かかって太郎さんが武蔵工大から学位を取得した。

原則3: 大状況から小状況へ、重大なものから重大でないものへ

- 太郎さんが怪我をした
- 薬指に怪我をした
- ナイフで怪我をした

太郎さんが薬指にナイフで怪我をした
太郎さんがナイフで薬指に怪我をした
ナイフで薬指に太郎さんが怪我をした

- 剛な梁が曲がる
- 荷重を受けて曲がる
- 下方方向に曲がる

剛な梁が荷重を受けて下方方向に曲がる
下方方向に荷重を受けて剛な梁が曲がる
荷重を受けて下方方向に剛な梁が曲がる

- 高速道路を整備する
- 都市間に整備する
- 計画的に整備する

高速道路を都市間に計画的に整備する。
都市間に計画的に高速道路を整備する。

原則2と3

- 太郎さんが怪我をした
- 薬指に怪我をした
- ナイフで怪我をした

太郎さんが薬指にナイフで怪我をした
太郎さんがナイフで薬指に怪我をした
薬指にナイフで太郎さんが怪我をした
薬指に太郎さんがナイフで怪我をした
ナイフで太郎さんが薬指に怪我をした
ナイフで薬指に太郎さんが怪我をした

- 太郎さんが怪我をした
- 薬指に怪我をした
- お父さんが愛用していたナイフで怪我をした

太郎さんがお父さんが愛用していたナイフで薬指に怪我をした
お父さんが愛用していたナイフで太郎さんが薬指に怪我をした
お父さんが愛用していたナイフで薬指に太郎さんが怪我をした

レポート作成課題テーマの選定

- 「若き挑戦者たち」を読破すること。
- その中で扱われているテーマから、レポート作成のテーマを選択・設定する。
- 10月30日(木)の授業において、テーマを決定する。

原則4: 親和性に配慮する

- 梁の上を通過する
- 列車が通過する
- 猛スピードで通過する

梁の上を猛スピードで列車が通過する
梁の上を列車が猛スピードで通過する
列車が梁の上を猛スピードで通過する
猛スピードで梁の上を列車が通過する

初夏のみどりがもえる夕日に 照り映えた

- 初夏のみどりが、照り映えた
- もえる夕日に、照り映えた

初夏のみどりがもえる夕日に照り映えた
もえる夕日に初夏のみどりが照り映えた

どっちが良いか？ 長さも同じ、重要度も同じ。

高い親和度が紛れを生む例

- 初夏のみどりがもえる夕日に照り映えた
- みどりと もえる の高い親和度が紛れの原因
- もえる夕日に初夏のみどりが照り映えた

言葉には親和度の強弱がある

- もえる 若葉
- みどりの 若葉
- **みどりのもえる若葉**
- バカな男
- もえる男
- みどりの男
- 親和度の近い単語が連なるとまぎれ易い。

直列的な修飾関係では、親和度の高い単語を近づける。

- 初夏のみどりに → もえる若葉が
→ 全山を包む
- 生起確率の小さい → 地震を受けて
→ 被害が増大した。

並列的な修飾関係では、親和度の高い単語を遠ざける。

- もえる夕日に→初夏のみどりが →照り映えた
- 初夏のみどりが→**もえる夕日に**→照り映えた
- 生起確率の**小さい**→**地震**と同時に
→ 津波が発生した。
- **地震**と同時に→生起確率の**小さい**
→津波が発生した。

修飾に関する4つの原則

1. 節を先に、句を後に
2. 長いものを先に、短いものを後に
3. 重要なものを先に、重要でないものを後に
4. 親和性の強弱に配慮する。
近づけたほうが良い場合と
離れたほうが良い場合がある。